

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成21年8月5日

【事業年度】 第101期（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）

【会社名】 株式会社 北國銀行

【英訳名】 The Hokkoku Bank, Ltd.

【代表者の役職氏名】 取締役頭取 安宅建樹

【本店の所在の場所】 石川県金沢市下堤町1番地

【電話番号】 (076)263局1111番

【事務連絡者氏名】 取締役兼執行役員 総合企画部長兼総合事務部長
杖村修司

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋3丁目8番4号
株式会社 北國銀行 総合企画部東京事務所

【電話番号】 (03)3271局3177番

【事務連絡者氏名】 東京支店長兼総合企画部東京事務所長
中村和哉

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
（東京都中央区日本橋兜町2番1号）
株式会社大阪証券取引所
（大阪市中央区北浜1丁目8番16号）
株式会社北國銀行 富山支店
（富山市本町5番21号）
株式会社北國銀行 東京支店
（東京都中央区日本橋3丁目8番4号）
株式会社北國銀行 大阪支店
（大阪市中央区今橋4丁目4番7号）

（注）印は、金融商品取引法の規定に基づく縦覧に供すべき場所ではありませんが、投資家の便宜のため有価証券報告書の訂正報告書の写しを備えるものであります。

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成21年6月29日に提出いたしました第101期（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正を要する箇所がありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

7 財政状態及び経営成績の分析

(2) 当連結会計年度の財政状態の分析

第4 提出会社の状況

1 株式等の状況

(8) ストックオプション制度の内容

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第2 【事業の状況】

7 【財政状態及び経営成績の分析】

(2) 当連結会計年度の財政状態の分析

(訂正前)

<前略>

イ 貸出金

	前連結会計年度 (億円) A	当連結会計年度 (億円) B	増減(億円) (B) - (A)
貸出金(未残)	21,294	21,459	165
うち住宅ローン	4,636	4,727	<u>91</u>

<後略>

(訂正後)

<前略>

イ 貸出金

	前連結会計年度 (億円) A	当連結会計年度 (億円) B	増減(億円) (B) - (A)
貸出金(未残)	21,294	21,459	165
うち住宅ローン	4,636	4,727	<u>91</u>

<後略>

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(8) 【ストックオプション制度の内容】

(訂正前)

<前略>

9 . 新株予約権の行使の条件

A . 新株予約権者は、当行の取締役及び執行役員のいずれの地位をも喪失した日の翌日から10日を経過する日までに限り一括して行使できるものとする。

B . 上記Aにかかわらず新株予約権者が平成46年8月24日に至るまでに権利行使開始日を迎えなかった場合には、平成46年8月25日から平成47年8月24日までに限り新株予約権を行使できるものとする。

<後略>

(訂正後)

<前略>

9 . 新株予約権の行使の条件

A . 新株予約権者は、当行の取締役及び執行役員のいずれの地位をも喪失した日の翌日から10日を経過する日までに限り一括して行使できるものとする。

B . 上記Aにかかわらず新株予約権者が平成45年8月24日に至るまでに権利行使開始日を迎えなかった場合には、平成45年8月25日から平成46年8月24日までに限り新株予約権を行使できるものとする。

<後略>